

授業科目名・形態	生活支援技術論Ⅱ	講義	必修・選択の別	選択
担当者氏名	関口 麗子	開講期	1年後期	単位数 2

【授業の主題】

介護を必要とする人の生活支援を行うため、介護実践の根拠となる人間の心身の構造や機能を学び、各種の病気や障害の理解につなげることができるように学習する。

【到達目標】

- 1) 介護実践に必要な観察力、判断力の基盤となる人間の心身の構造と機能の基礎的な知識を理解する。
- 2) 生活支援の場面に応じた、心身のしくみ及び機能低下や障害が生活に及ぼす影響について理解する。
- 3) 人生の最終段階にある人と家族を支援するため、終末期の心身の変化が生活に及ぼす影響について学び、生活支援を行うために必要となる基礎的な知識を理解する。

【授業計画・内容】

- 第 1 回 入浴・清潔保持に関連したしくみ ①皮膚の構造と機能
- 第 2 回 入浴・清潔保持に関連したしくみ ②入浴と清潔の意義と必要性
- 第 3 回 入浴・清潔保持に関連したしくみ ③心身機能の低下が及ぼす影響
- 第 4 回 入浴・清潔保持に関連したしくみ ④変化への気づき、対応
- 第 5 回 排泄に関連したしくみ ①排泄の構造と機能
- 第 6 回 排泄に関連したしくみ ②排泄のメカニズム
- 第 7 回 排泄に関連したしくみ ③心身機能の低下が及ぼす影響
- 第 8 回 排泄に関連したしくみ ④変化への気づき、対応
- 第 9 回 食と排泄について考える ー事例を通してー
- 第 10 回 睡眠に関連したしくみ ①睡眠のしくみと心身機能の低下が及ぼす影響
- 第 11 回 睡眠に関連したしくみ ②変化への気づき、対応
- 第 12 回 死にゆく人に関連したしくみ ①「死」を理解する
- 第 13 回 死にゆく人に関連したしくみ ②終末期から「死」までの変化と特徴
- 第 14 回 死にゆく人に関連したしくみ ③死生観
- 第 15 回 死にゆく人に関連したしくみ ④医療従事者との連携

【授業実施方法】

講義形式で行い、DVD、ビデオ等を活用する。

【授業準備】

前期に学習した生活行為と、日常営まれる生活行動を復習する。

【主な関連する科目】

介護の基本、日常生活支援技術

【教科書等】

「最新・介護福祉士養成講座 11 こころとからだのしくみ」 <中央法規>

【参考文献】

適宜、紹介します。

【成績評価方法】

小試験・後期定期試験 90%、・授業態度等 10%により総合的に評価する。

【学生へのメッセージ】

身体各部の名称や、医学的な専門用語等なかなか解りづらいことも多いとおもいます。自分自身の身体と行動に結びつけ、理解するよう努力しましょう。